



Mihara Memorial Hospital

vol.17

夏号

発行月 令和7年7月
発行責任者 院長

ひろせの風



認知症疾患医療センター
センター長 針谷 康夫

パーキンソン病・運動障害センター
センター長 富保 和宏

夏号のテーマ

- 未来を守るために「今できること」認知症と向き合う新時代の選択肢
脳リハビリテーション編 / 治療薬編

無料Wi-Fi

病院内で
使用できます



公益財団法人 脳血管研究所
美原記念病院
Mihara Memorial Hospital



未来を守るために「今できること」

認知症と向き合う 新時代の選択肢



未来を守る行動・生活習慣づくり

「年だからしかたない」そんなふうにあきらめていませんか。

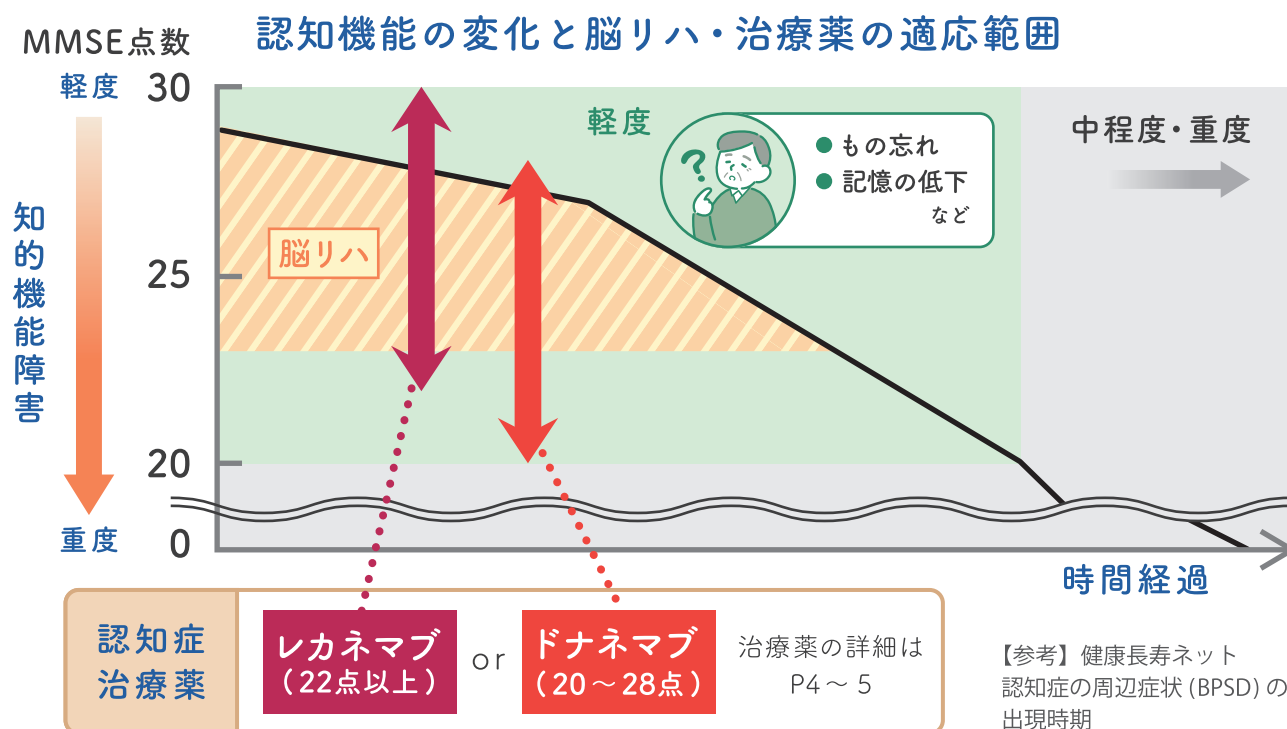
MCI (Mild Cognitive Impairment: 軽度認知機能障害) は、日常生活に大きな支障は出ていない状態ですが、「認知症予備軍」とも言われています。この時期に適切なサポートを受け、生活習慣を見直すことで、認知機能の低下をゆるやかにし、日常生活の「できる」を長く保つことが期待されています。

当院では、**認知機能低下の予防に繋がる行動・生活習慣を身につけることを目的とした「脳リハビリテーション」**を提供しています (詳細は右ページ参照)。

認知症疾患医療センター美原記念病院では、**MMSE※1**などの検査・診察を行い、診断の結果MCIと診断された方に、治療法の一つとしてこの脳リハビリテーションを薦めています。

簡易チェック ※1 MMSE とは？

MMSE (Mini-Mental State Examination: 簡易認知機能検査) とは、**もの忘れや認知機能の低下があるかを調べるための検査**です。現時点における認知機能の程度を評価します。30点を満点とし、**点数が低いほど認知機能が低く**なります。点数は目安であり、医師による総合的な判断が必要です。



脳リハビリテーションってどんなことするの？

みんなで楽しむコミュニティの場

目的

記憶力・判断力などの
認知機能の向上

時間

1回
80分

期間

週1回：金曜日
6ヵ月間

動画はこちら



Instagram

一人で
家にこもる
時間が減る

生活の
リズムが
整う

私たちが
サポートします！



神経難病リハビリテーション課
作業療法士 課長補佐 一場 弘行
作業療法士 中島 亜紗美
作業療法士 島川 悠大
(写真 左から)

体を動かす

マンツーマンで運動を
して体を動かそう



運動

みんなで頭を使って
簡単な運動をしよう



コグニサイズ

みんなで音読や計算
間違い探しをしよう



プリント課題

一緒にやると
がんばれる

エーダス コグ ADAS-Cog※2 で見る 脳リハビリテーションの効果

より詳細な検査 ※2 ADAS-Cog とは？

ADAS-Cog (Alzheimer's Disease Assessment Scale-Cognitive Subscale: アルツハイマー病評価尺度) とは、**記憶力や注意力、理解力など日常生活に関連する認知機能を細かく評価する検査で、治療効果を測る際に使用されています。**MMSEとは逆に、**点数が低いほど認知機能が高くなります。**

ADAS-Cog 検査 参加者平均結果

6ヵ月間 脳リハビリテーションに取り組んだ方21名

実施前 7.8
実施後 6.2

点数が下がり
認知機能が改善

具体的な改善例

- 会話中に言葉がスムーズに出るようになった
- メモの内容を覚えて活用できるようになった
- 買い物や料理の準備ができるようになった

未来を守るために「今できること」

認知症と向き合う 新時代の選択肢

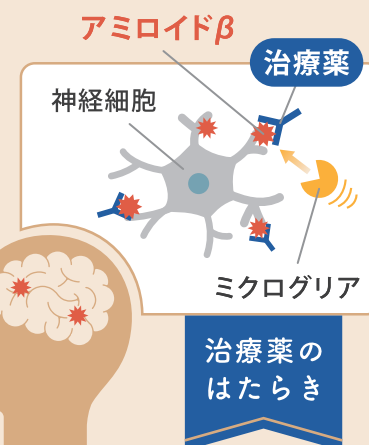
アルツハイマー型認知症は、進行性の病気ですが、ニュースでも話題となったアルツハイマー型認知症に対する新しい治療薬の登場により、その進行を一定期間遅らせ、QOL（Quality Of Life：生活の質）の低下をゆるやかにすることができると言われています。当院においても、この新治療薬「**レカネマブ**（商品名レケンビ®）」や「**ドナネマブ**（商品名ケサンラ®）」を導入し治療を行っています。

アルツハイマー型認知症は、脳内に溜まる「**アミロイドβ**」という異常なタンパク質の蓄積が、認知症の進行に関係すると考えられています。治療薬がアミロイドβとくっつき、異物を排除する細胞のミクログリアを引き寄せアミロイドβを取り除きます。これにより病気の進行をある一定期間遅らせることができます。

患者さんにとってどちらの治療薬が適しているかは、おからだの状態や生活スタイルによって異なります。以下は、主治医やご家族と相談しながら決めていただくための比較表です。

＼ 具体的にどのような方が対象になるかみていきましょう ＼

	レカネマブ(レケンビ®)	ドナネマブ(ケサンラ®)
対象者	アルツハイマー病による軽度認知障害(MCI)および軽度のアルツハイマー型認知症の患者さん	
MMSE点数 (P2 ※1 参照)	22点以上	20～28点
禁忌 (対象外)	① アルツハイマー型認知症 中等度以上の方 ② 脳出血の既往歴がある方 ③ 特定の薬物アレルギーがある方	



認知症の相談から診断までの流れはこちら ➡



広報誌「ひろせの風」
Vol.4 春号 P2～P3 掲載



＼ 各治療方法をみていきましょう ＼

	レカネマブ (レケンビ®)	ドナネマブ (ケサンラ®)
点滴時間	1時間／回 	30分／回
投与間隔	2週間に1回 	4週間に1回
治療期間	原則18ヵ月	アミロイドβが除去されている場合 12ヵ月 除去されていない場合 最長18ヵ月
MRI検査 	2・3・6ヵ月ごと その後定期的	1・2・3・6ヵ月ごと その後定期的

レカネマブやドナネマブの点滴治療中は、MRIを定期的に撮影することが必須です。目的は、ARIA（アリア）※1と呼ばれる副作用（特に脳のむくみや出血）を早期に発見するためです。

※1 ARIA（Amyloid-Related Imaging Abnormalities：アミロイド関連画像異常）

「まずは相談から始めましょう」

脳リハビリテーションを含むこれらの治療を受けるには、医師による画像・認知機能検査をふまえた診断が必要です。治療を希望される方は、まずは医師・看護師・医療ソーシャルワーカーにご相談ください。

ご相談はこちら ➡

認知症疾患医療センター

相談専用窓口 ☎ 0 270-20-1700

【受付】月～金曜日 9:00～ 17:00（祝日・年末年始除く）



HP



公認心理師 熊木 律来
精神保健福祉士 主任 島崎 裕子
看護師 森田 詠子
社会福祉士 太田 広海
(写真 左から)

私の仕事について

私は病院で働く介護福祉士として、回復期リハビリテーション病棟に所属しています。この病棟では、病状が安定し、在宅復帰や社会復帰を目指してリハビリに取り組んでいる患者さんが入院されています。患者さんはリハビリセンターや病棟でリハビリを行うだけでなく、食事・入浴・排泄など日々の「生活」も病院内で送っています。この「生活すること」自体が、実は大切なリハビリの一環でもあります。しかし、病気や加齢により生活のあらゆる場面で介助が必要な方も多くいらっしゃいます。

私たち介護福祉士の主な役割は、そうした患者さんの療養生活を支えることです。物品の補充や整理整頓、清掃などの環境整備を行い、看護師やリハビリを行うスタッフと共に、患者さんが安心して療養生活を送り、リハビリに前向きに取り組めるよう支援しています。



▲ 快適な療養環境を作るためのシーツ交換

業務を行ううえで大切にしていること

患者さんに対して丁寧に接するのはもちろんのことですが、私は

6階看護部

介護福祉士

板井 一馬

趣味：ギター弾き語り
ソロキャンプ



「全ての患者さんに対し、その人に合った対応をする」ことを大切にしています。入院されている患者さん一人ひとりに、入院前の生活があり個々の価値観があります。にぎやかな会話を好む方もいれば、静かに過ごすことを望まれる方もいます。介助中の何気ない会話からその方の人柄や希望を感じ取り、「その方らしい穏やかな時間」を過ごしていただけるよう、常に心を配るようにしています。また、そのような対応をするには、自分自身の心に余裕がなければなりません。体調管理はもちろん、スタッフ同士の連携や職場環境を整えることも、



▲ 患者さんとのコミュニケーション

心に余裕を持って働くために大切なことです。そうした環境の中で自分なりに考え提供した支援に対して、患者さんから「ありがとう」と言ってくれた時には、仕事のやりがいと充実感を強く感じます。

皆さまへ

皆さまは、病院にも介護福祉士やヘルパーが多く働いていることをご存じでしたか。

介護の仕事といえば、福祉施設や在宅での支援を思い浮かべる方が多いかもしれません。私たち介護福祉士は、病院という医療の現場で患者さんの生活を支え、多職種と連携しながら、在宅復帰や社会復帰に向けたサポートを行っています。この記事を通して、少しでも私たち介護福祉士のことを知っていただけたら嬉しく思います。

連携医紹介

当院では地域のかかりつけ医との連携強化に努めています

Q1. 患者さんと接する時に意識されていることは？ Q2. 先生の『モットー』は？ Q3. 地域の皆さんへメッセージを！

完全予約制で
待ち時間を短縮



院長
奥山 文雄 先生

出身地：山形県鶴岡市
趣味：ゴルフ
絵画鑑賞

奥山歯科医院

診療科目

■一般歯科 ■歯科口腔外科 ■小児歯科

- Q1.** ご高齢の患者さんが多いため、体調や全身の状態に配慮しつつ診療します。歯科治療はおからだに負担のかかることもあるため、できるだけ無理のない方針を立て、安心して治療を受けていただけるよう心がけています。
- Q2.** 『誠実に 謙虚に』地域の皆さんにとって身近な存在であり続けるために、新しい技術や知識にも目を向けながら、日々の診療に取り組んでいます。患者さんにとって一番良い治療は何かを考え、丁寧で誠実な対応を心がけています。
- Q3.** 当院では、患者さんの待ち時間をできるだけ少なくするために、完全予約制を採用しています。お口のことならどんな小さなことでも気軽にご相談いただけるような、親しみやすく温かな歯科医院を目指し、これからも地域の皆さんのお口の健康を守ります。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	—	○	○	—
14:00～18:30	○	○	○	—	○	○	—

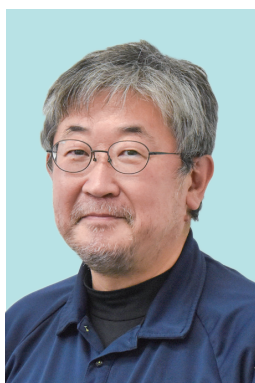
休診日

■木曜
■日曜
■祝日

お問合せ先

住所：〒372-0001 群馬県伊勢崎市波志江町2076-9
TEL：0270-23-2290

地道に 実直に



院長
中村 俊喜 先生

出身地：群馬県桐生市
趣味：卓球
(部活の外部コーチ)

あい駒形クリニック

診療科目

■訪問診療 ■内科

- Q1.** 訪問診療を利用される患者さんやご家族の中には、心身ともに負担を感じている方も少なくありません。そうした中で、ご本人やご家族が何を本当に求めているのかを探し出せるようにしています。ただ診察をするのではなく、その方にとって最も望ましい姿を一緒に考えます。
- Q2.** 『やれることはやったから、後はなるようにしかならない』祖母の言葉です。在宅医療は状態が安定している方だけでなく、ターミナルの方もいらっしゃいます。だからこそ患者さんやご家族の希望を伺いながら、医療者としてのベストを尽くし、その流れの中で柔軟に対応していくことが大切だと思っています。
- Q3.** 在宅での診療のため、できることは限られますが、病院をはじめ訪問看護、調剤薬局、ケアマネ、介護施設の方々と連携し、在宅での療養生活や人生の終末期ができる限りその方の希望に沿った形になるようサポートしていきます。お困りごとがありましたらお気軽にご相談ください。

	月	火	水	木	金	土	日
訪問診療	9:00～17:30						—
	24時間 / 365日						—

休診日

■土曜
■日曜

診察に関するお問い合わせのお電話は平日8:30～17:30にお願いいたします

お問合せ先

住所：〒379-2121 群馬県前橋市小屋原町1698-1 TEL：027-226-1891
URL：https://komagata.aiyu-kai.or.jp/

美原記念病院 医師紹介

(令和7年7月1日現在)

脳神経内科



院長 美原 盤 (ミハラ バン)

日本頭痛学会頭痛専門医・指導医、日本内科学会認定内科医、日本神経学会神経内科専門医・指導医、日本脳卒中学会脳卒中専門医



認知症疾患医療センター
センター長 針谷 康夫 (ハリガヤ ヤスオ)

日本神経学会神経内科専門医・指導医、日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・内科指導医、日本老年医学会老年科専門医、日本認知症学会認知症専門医・指導医、日本脳卒中学会脳卒中専門医



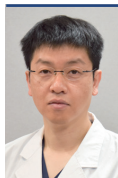
パーキンソン病・運動障害センター
センター長 富保 和宏 (トミヤス カズヒロ)

日本神経学会専門医・指導医、日本内科学会総合内科専門医、日本認知症学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医、日本リハビリテーション医学会認定臨床医



古井 啓 (フルイ ケイ)

神経学会神経内科専門医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、麻酔科標榜医



高橋 秀輔 (タカハシ シュウスケ)

日本神経学会専攻医



玉城 駿介 (タマキ シュンスケ)

日本神経学会神経内科専門医、日本内科学会認定内科医

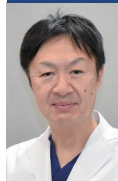
脳卒中科



部長 木幡 一磨 (コワタ カズマ)

日本脳神経外科学会脳神経外科専門医・指導医、日本脳卒中学会脳卒中専門医・指導医、日本脳神経血管内治療学会脳血管内治療専門医、日本神経内視鏡学会技術認定医、臨床研修指導医

脳神経外科



副院長 部長 赤路 和則 (アカジ カズノリ)

日本脳神経外科学会脳神経外科専門医・指導医、日本脳卒中学会脳卒中専門医・指導医、日本脳神経血管内治療学会指導医、インфекションコントロールドクター(ICD)、日本頭痛学会頭痛専門医、日本脳卒中の外科学会技術指導医、日本認知症学会認知症専門医・指導医



山田 浩貴 (ヤマダ ヒロキ)

日本脳神経外科学会脳神経外科専門医、日本脳神経血管内治療学会脳血管内治療専門医



高橋 宏典 (タカハシ ヒロノリ)

日本脳神経外科学会脳神経外科専門医



青木 淳 (アオキ ジュン)

日本脳神経外科学会専攻医

循環器内科



部長 江熊 広海 (エグマ ヒロミ)

インフェクションコントロールドクター(ICD)

内科・リハビリテーション科



科長 樋口 清一 (ヒグチ セイイチ)

日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医、インフェクションコントロールドクター(ICD)、日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本アレルギーアレルギー専門医

外来非常勤

- | | | |
|---------|---------|---------|
| ● 青木 蕉 | ● 小林 正人 | ● 高島 和彦 |
| ● 美原 貫 | ● 中村 智之 | ● 久松 徹也 |
| ● 伊藤 健太 | ● 佐鳥 紀輔 | ● 下井 章寛 |

お問合せ先

公益財団法人 脳血管研究所 美原記念病院

〒372-0006 群馬県伊勢崎市太田町366 <https://mihara-ibbv.jp>

TEL: 0270-24-3355 FAX: 0270-24-3359 E-mail: mihara-hosp@mihara-ibbv.jp

